



エクアドル通信



No.2 2019年4月17日

青年海外協力隊 江口友晴

¡Hola! ¿Cómo están ustedes? (やあ、みなさんお元気ですか?)

前回はエクアドルの首都キトについて紹介しました。今回は、エクアドルの全体のことを少しでも知ってもらえればと思います。



国名：エクアドル共和国

面積：25.6 万km² (本州+九州ほどの広さ)

言語：スペイン語、先住民族の言語

人口：約 1,700 万人(2018 年現在)

通貨：US ドル

宗教：カトリック

【国旗の意味】

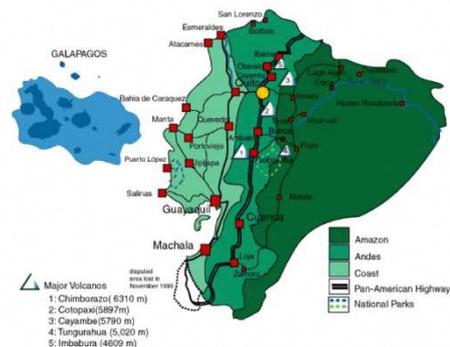
黄は太陽と鉱物資源を、青は海と空を、赤は独立に流した血を表しています。

中央の紋章には、コンドル、チンボラソ火山、商船、太陽などが画かれています。

【4つの気候区分】

エクアドルは小さい国ですが、地域によって気候が全く異なり、以下の4つに分けられます。

- ① コスタ (海岸地帯：西側)
- ② シエラ (山岳地帯：中心部)
- ③ オリエンテ (アマゾン地帯：東側)
- ④ ガラパゴス



①コスタは海沿いなので標高が低く、平均気温 25 度前後、最高 40 度前後と高めなのが特徴です。②シエラには標高 4,000~6,000m 級の山が 20 以上あり、街自体の標高も高く 1 日で四季が訪れると言われるほど朝晩と日中の寒暖差があります。③オリエンテは標高が 900m 前後で、乾期雨期に関係なくほぼ毎日雨が降るため、年間を通して涼しく過ごしやすい気候です。④ガラパゴスの気候はコスタに似ています。

【世界遺産】

エクアドルには、世界遺産第一号のひとつとして登録されたガラパゴス諸島をはじめ、5つの世界遺産があり、その中のひとつ、カパック・ニャンはインカ帝国時代に作られた全長3万kmの道路網で、アルゼンチン・ボリビア・チリ・コロンビア・ペルーの5カ国にまたがっています。

- | | |
|------------------|-------------------|
| ① ガラパゴス諸島（自然遺産） | ④ クエンカ歴史地区（文化遺産） |
| ② キト市街（文化遺産） | ⑤ カパック・ニャン（文化遺産） |
| ③ サンガイ国立公園（自然遺産） | ※カパック・ニャンは他5カ国と共有 |

【産業】

鉱工業、農業、水産業が主な産業で、石油、バナナ、コーヒー、カカオ、ブロッコリー、バラ、エビ、マグロなどが有名です。中でも、バナナ、コーヒー、カカオに関しては、日本国内でもエクアドル産のものを目にする機会があると思います。エクアドル在住の日本人の中には、バナナ、コーヒー、カカオの生産や流通に携わっている人がたくさんいらっしゃいます。みなさんが普段食べているチョコレート、カカオのどの部分がどのような工程でチョコレートになるか知っていますか？エクアドル国内には、カカオ農園やチョコレート工場が数多く存在していて、工場見学を通して実際に自分の手でチョコレートを作ることができます。



【日本との関係】

日本とエクアドルは、2018年に国交100周年を迎えました。100周年を祝して、首都キトでは、大規模なイベントが行われ、日本から歌手さだまさしさんにお越しいただき、青年海外協力隊のエクアドル隊員も日本の文化を伝えるために、参加しました。

また、エクアドルと関わりの深い日本人と言えば、野口英世博士が挙げられます。野口英世博士は、黄熱病の研究のためにエクアドルの大都市グアヤキルに出張し、多くの命を救う活動を行いました。そのため、現在でも野口英世博士の銅像がされており、その名前が学校や道路、病院などの名前になっています。